

海外留学のすすめ

皆さんは、琉球大学が提供している海外留学制度について調べたことはありますか？ 海外留学に行きたいという目標を持っている方の中には、何から調べ始めたらいいか、どんな準備をしたらいいか分からない方も多いと思います。今回の学修ガイドでは2024年6月に行なった「[先輩に聴く！海外留学のすすめ](#)」のセミナー内容をまとめつつ、琉大の海外留学制度や留学するために意識しておいた方が良いことについて自分の経験を踏まえながら紹介します。

・琉大の短期交換留学プログラムについて

短期交換留学（派遣）制度



・大学間学生交流協定、部局間学生交流協定

この制度を利用すると、琉球大学と協定を結んでいる大学間において1学期以上1年未満の交換留学ができます。また、留学後に所定の手続きをした場合、単位互換をすることもできます。（単位に関するお問い合わせは各学部の事務へ相談することをお勧めします。）

各協定校の派遣募集人数や求める外国語試験の点数などは募集ごとに変化しますので、国際教育課HPの公募情報にある募集要項を確認してみてください。

協定校リスト：<https://ges.skr.u-ryukyu.ac.jp/study-abroad/program/partner/>

・ISEP（International Student Exchange Programs）

上記の大学間交換留学の他に、最近新たにISEPとUMAPという交換留学制度が追加されました。今回はその中でもISEPについての紹介をしたいと思います。

ISEPは、米国本土に約165校、世界全体では約300校ほどの加盟校があるため、琉球大学の協定校ではない大学を留学先の選択肢に加えることができます。特に米国へ留学を希望している学生にお勧めです。

また、ISEPで派遣学生として採用され、「琉球大学QUEST基金短期交換留学（協定派遣）奨学金」に申請し、奨学生として採用された場合、奨学金受給の代わりに、派遣先大学での宿舍費及び基本的な食費の支払（月額8万円）が不要となる」（2025年度大学間短期交換留学（派遣）〔第1回募集〕募集要項から引用）ため、留学費用を大幅に抑えられるという特徴があります。

・留学先を決める時のポイント

多くの人は習得してみたい言語や行ってみたい国などから留学先の国を決めることが多いと思いますが、大学での海外留学では学ぶことが1番の目的とされているので、留学先でどのようなことを学びたいかを明確にしておかなければなりません。留学先の大学を決める際にも同様のことが言えます。短期交換留学の応募申し込み用紙には自分が行きたい希望大学と、なぜその大学を希望するか、その大学で何が学びたいかという理由を記入する欄があります。そのため、留学を検討している方はそのことを念頭に置いて留学先を選ぶことをお勧めします。

・留学に応募するまでに意識しておきたいこと

このリストは、あくまでも私が留学準備の際に意識していた点なので参考程度に見ただけだとありがたいです。

- ・希望する留学先と学びたい分野について明確にする
- ・第一回募集と第二回募集で、派遣時期や各大学の派遣受け入れ人数なども変化するのでもそも念頭に置いて自分の応募タイミングを決めておく
- ・語学力証明書の提出があるので、試験結果が届く日程も鑑みて試験対策をする
(試験によっては月の試験開催数が少なかったり、一回の受験受付人数に制限がある)
- ・GPAも審査に含まれるので普段の授業も良い成績を取れるように意識する

一番重要なポイントは早めに目標を設定し計画をたてて準備すること！

自分が留学を希望する時期に合わせて応募できるように、早めに事前準備をやっていて損はないと思います。必ずしも応募しなくてもいいので、応募できるような準備をしておくことが大切です。

・最後に

琉大は留学制度も充実しており、留学費用に関しても奨学金などの選択肢が多数あるので、留学に興味がある方はまずは挑戦してみることをお勧めします。琉大の留学制度についてもっと詳しく情報を知りたい方は国際教育課のホームページを参照したり、直接国際教育課に行き留学相談をしてみてください。

・留学に関する問い合わせ先

- ・琉球大学国際教育課（共通教育棟一号館一階）
<https://ges.skr.u-ryukyu.ac.jp/>
- ・協定大学への留学に関すること
outbound@acs.u-ryukyu.ac.jp



(地域共創研究科 M2 アメリカ文学系TA)